事務事業評価シート　（評価対象年度：平成30年度）

1.基本的事項 【PLAN】

①事務事業名	街かどデイサービス事業	②事業番号	4509
③事業類型	3. 政策推進事業	④開始年度	平成 12 年度
⑤終了予定年度	年度 ○ 設定なし		
⑥根拠法令等	法令 / 条例 / 規則 / ○ 要綱 / 計画等 / その他	法令等の名称	泉南市街かどデイハウス支援事業実施要綱
⑦実施手法	直営 / ○ 全部委託 / 一部委託 / 補助・負担 / その他		
⑧関連予算科目コード	款 3 / 項 1 / 目 9	細目 6	
⑨担当部名	健康福祉部	⑩担当課名	長寿社会推進課
会計	一般会計		

2. 事務事業の現状把握 【DO】

〔1〕事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)	対象指標(対象者数を表す指標)	単位
① 65歳以上の泉南市民(要介護と判定された方を除く)	① 65才以上の市民(3月31日現在)	人
②	②	

(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)	活動指標(活動の量を表す指標)	単位
高齢者の介護予防を図るため、地域の既存施設を利用し、住民参加による、柔軟できめ細かな日帰りサービスを提供する住民参加型非営利団体4か所で高齢者の自立的生活の助長、社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上等を図ることを目的とする。	① 利用日数	日
	②	
	③	

(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
介護保険制度下で自立と判断された在宅高齢者のうち、要支援(要介護)になるのを予防する必要があるものに対し、介護予防及び生活支援を中心としたサービスを提供することのにより、在宅高齢者の自立した生活の維持、閉じこもりの防止を図る。	① 延べ利用者数	人
	計算式	
	②	
	計算式	
	③	
	計算式	

(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)	総合計画体系上の位置付け		
閉じこもりを防止し、自立した生活を維持し、介護予防に資することで、介護保険を利用しなくても、在宅生活が出来るようにする。	政策(章)	2	みんなが健やかで、みんなが助け合うまち
	施策大(節)	3	みんなで支えあう福祉のまちをめざします
	施策中	2	高齢福祉の充実
	施策小	2	介護予防サービスの充実

〔2〕各種指標値、事業費の推移

	指標名	単位	H28実績	H29実績	H30実績	H31見込	R2目標	指標値の推移における特殊要因などの説明
対象指標①	65才以上の市民(3月31日現在)	人	17,153	17,337	17,569	17,600	—	
対象指標②								
活動指標①	利用日数	日	620	605	562	610	—	—
活動指標②								
活動指標③								
成果指標①	延べ利用者数	人	3,555	3,141	2,828	3,300	—	
成果指標②								
成果指標③								
事業費 投入人員	正職員	人	0.11	0.10	0.10	0.10		事業費などの推移における特殊要因などの説明
	任期付職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
事業費 事業費	人件費(投入人員＊単価)	千円	877	803	811	811		—
	直接事業費	千円	6,000	6,000	6,000	6,000		
	総事業費	千円	6,877	6,803	6,811	6,811		
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	府支出金	千円	6,000	6,000	6,000	6,000		
	受益者負担金	千円	0	0	0	0		
	その他特定財源	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	877	803	811	811		

〔3〕事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	高齢者の社会参加や健康で生きがいのある充実した生活が送れるよう。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	現在、交付金の見直しが府の方で検討されており、事業の再構築などを含め支援内容を検討する必要がある。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	地域の互助力の向上に向けて、地域住民主体の活動の推進に取り組んだ。

3. 事務事業の評価 【CHECK】

〔1〕目的妥当性（必要性）　A.高い　B.やや高い　C.やや低い　D.低い　〔1〕の評価 A

評 価 項 目			評価及び理由・説明等
①事務事業の意図すること（目的）は、上位施策（施策小）の達成に貢献しますか。	ア	ア．する イ．ある程度 ウ．しない	高齢者の自立生活を支え、社会的孤立感の解消を図るとともに、その家族の身体的・精神的な負担の軽減を図る。
②税金を使って達成する目的ですか。 （市が関与する必要がありますか、市民（特に納税者）の納得が得られますか。民間に類似サービスはありませんか。）	ア	ア．はい イ．ある程度 ウ．いいえ	高齢者が増加する中、いつまでも健康で元気に暮らせるよう、生きがいづくり、健康づくり、仲間づくりの場を提供することができている。
③対象範囲、単価、事業費規模は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 （他団体と比較してどうですか。）	ア	ア．合っている イ．ある程度 ウ．いない	府の交付金要綱に沿って実施しており適正と考える。
④事務事業を休止・廃止した場合、市民生活（あるいは上位施策）への影響はありますか、ある場合それは大きいですか。	ア	ア．影響がある イ．ある程度 ウ．ない	要介護状態への移行が早くなり、介護給付が増大する。 閉じこもりがちになる高齢者が増加する。

〔2〕有効性　A.高い　B.やや高い　C.やや低い　D.低い　〔2〕の評価 A

⑤期待どおりの成果が得られていますか。	ア	ア．得られている イ．ある程度 ウ．いない	高齢者の自立生活、介護予防に寄与している。
⑥今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 （事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができませんか。）	ア	ア．ある イ．ない	施設についての周知、また、身近な拠点を増やすことにより、利用者の増加を見込むことができる。
⑦庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できませんか。	イ	ア．類似なし イ．できる ウ．できない	現在、地域支援事業である介護予防事業と連携しておこなっているが、交付金のあり方が変わるため、今後の事業の在り方は検討を要する。

〔3〕効率性　A.高い　B.やや高い　C.やや低い　D.低い　〔3〕の評価 B

⑧成果を下げずに事業を工夫してコスト（直接事業費＋人件費）を削減する手法はありませんか。 （業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。）	イ	ア．ある イ．ない	現行で適正である。
⑨受益者負担の適正化余地はありませんか。 （歳入確保はできませんか。）	イ	ア．ある イ．ない	介護予防と閉じこもり予防という目的のため、食事代等少額は徴収しているが、受益者負担が増えると参加者が減少する。

4. 総合評価

	評価（A～D）	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	
総合評価	B	交付金のあり方が変わる為、今後の事業のあり方を検討する必要がある。	A：現状のまま事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休止・廃止の検討が必要

5. 改革、改善案 【ACTION】

＜今後の方向性＞

イ

ア．現状のまま継続　イ．見直しのうえで継続　ウ．終了（＿＿年まで）　エ．休止（＿＿年から）　オ．廃止（＿＿年から）

b

＜今後の展開方針＞

a. 重点化する（集中的なコスト投入）
b. 手段を改善する（実施主体や実施手段を変える）
c. 効率化する（コストを下げる）
d. 簡素化する（規模を縮小する）
e. 統合する（他の事務事業と統合する）

①改革、改善の具体案、実施年度など	交付金のあり方が変わり、事業のあり方を検討する必要がある。
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策	―